

第2回センター部会 報告

と き：平成 17 年 9 月 20 日(火)午後 2 ～ 4 時

ところ：静岡県ふじのくに NPO 活動センター(追手町)

出席者：小野寺委員(議長)、小出委員、遠藤委員、市川委員、甲賀委員、東山委員、
河井委員、木村委員、事務局 4 人

1 市民生活課木下参事 挨拶

2 資料説明(事務局)

- (1) 仮称) 清水区市民活動センター整備計画案について
- (2) 仮称) 清水区港町市民活動センターの整備に係るパブリックコメントの整理

3 意見交換

(1) 施設の設置目的

「市民活動をワンランクアップさせる人材や組織の育成のための市民活動センターを整備する」(案)

「ワンランクアップさせる」の意味がよくわからない。この文章が無くてもいいのではないか。他の公共施設と競合しないような内容にすべきである。

事務局 行政と肩を並べられるぐらいの能力を持った NPO や人材が育ってもらえるように、センターの特徴として表現した。

差別的な表現にならないように注意すべきである。

誰もが自由に使用できるようにするよりも、明確に利用者のターゲットを絞った施設にすべきではないか。図書館や公民館などと区別がつかないものを作る必要はない。

一般的な NPO の底上げも重要な施策であると思うが、そのところを担うものが他にあれば、対象を絞ることも良いのではないか。

現在のセンターは、個人に対するサービスに重点を置いているので、新施設では、団体の支援やネットワーク作り、中間支援型組織の育成に重点を置いてほしい。

単なる個人の学習能力のアップではなく、組織として活動していく能力を持った団体になるように支援・育成していくことを目的としたらいかかが。

福祉ボランティア系の団体では、5 年 10 年と継続していくことが大切になる。そういった団体では、ワンランクアップという評価は、大変難しい。

ワンランクアップできる団体ではなく、ワンランクアップしようとする団体を対象とする。施設の目的として、市民活動への支援ばかりではなく、市民活動の自立にも重点を置くようにしてほしい。オープンスペースの利用法にしても、利用者がワンランクアップという気概を持って利用すればその雰囲気が出てきて、自然と利用者が限定されてくる。

託児施設があると子連れの奥さんたちの溜まり場になってしまう。

差別にならないように、幼児の遊び場的なコーナー程度の設置は考えたほうがよい。

パソコンコーナーの設置目的は？インターネットによる情報収集は、個人でも行える。パソコンを使った資料の作成も、センターで一から作り始めることは少ないのではないかと。台数を減らすか、利用制限をしてもよいと思う。

ボランティアセンターでもパソコンの需要は減っている。

注文の多い料理店ではないが、「何でもあります」といって利用者(市民)に媚を売る必要ない。

利用者も運営に積極的に関わるようその義務かも考えるべきである。

貸しロッカーなどはどのように使うのか？レターケース程度でよいのではないかと。

確かに物置化してしまい、チラシの山になりかねない。

ただ連絡箱的な利用方法は有功だと思う。

情報の発信、受信、集約などのために、センターにどのような機能をおくかは、管理団体から提案いただくようにしたい。管理団体のコーディネーター能力として、託児の問題も含め解決できる内容と考える。その方法は提案で受ければよい。

事務局 飲食スペースなどを考える必要はあるか？貸事務所スペースの形態を提案いただきたい。

イベントの実施など事業を行う場ではないので、特別に飲食スペースは要らない。貸事務所のデスクは、入居団体の自由なコミュニケーションが可能なように、区域を完全に遮断してしまうような仕切りを作らないほうがよい。

センターのオープンスペースとオフィススペースとの仕切りは必要である。

NPO とコラボレーションしたい企業や行政などに対して、そのマッチングができる場所になればよいと思う、博物館のキュレーターのように、必要とする NPO の情報を的確に提供できることも、管理団体が持つ重要な機能だと考える。

(2) 名称について

事務局 条例化のために正式な名称を決める必要がある。後日メール上でいくつか候補を挙げるので、メール等でご意見をいただきたい。「市民活動センター」「地域しごと支援センター」「行政支援センター」

センターのターゲットを「積極的な社会活動を志向する市民団体」とし「市民の社会活動センター」などいかがか。

4 その他

事務局 次회가部会の最終となるが、それまでに、センターの平面のレイアウト等を示したいと思う。

「次回開催 平成17年10月13日(木)午後7時から」で決定する